

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 9 月 9 日(2024.9.9)

【公開番号】特開 2024-46671(P2024-46671A)
【公開日】令和 6 年 4 月 3 日(2024.4.3)
【年通号数】公開公報(特許)2024-061
【出願番号】特願 2024-16793(P2024-16793)
【国際特許分類】

G 0 3 B 17/56(2021.01)

H 0 4 N 5/222(2006.01)

F 1 6 M 11/12(2006.01)

【F I】

G 0 3 B 17/56 A

H 0 4 N 5/222 1 0 0

F 1 6 M 11/12 A

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 8 月 30 日(2024.8.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成するため、本発明の機器のスタンドは、第 1 支点を有する支持部と、前記第 1 支点を中心として前記支持部に回転可能に連結され、一端部に第 2 支点を有する第 1 アームと、第 1 端部と第 2 端部を有し、前記第 1 端部が前記第 2 支点を中心として前記第 1 アームに回転可能に連結された第 2 アームと、グリップと、前記第 2 アームの前記第 2 端部と前記グリップとに連結され、機器に連結可能であって、前記第 2 アームに対する前記機器の向きを前記グリップの操作により変更可能なジョイント部と、を備え、前記グリップは前記機器と連動可能であり、前記グリップは、前記第 2 アームが前記第 1 アーム側に回転した状態にあるときに、ユーザによる前記グリップの操作により、前記ジョイント部の回転動作と、前記ジョイント部における前記機器の向きの変更動作とのうち少なくとも一方が行われることにより前記第 1 アームに前記機器が干渉せずに前記グリップが干渉する第 1 位置と、前記第 1 アームに前記機器及び前記グリップの両方が干渉しない第 2 位置とに位置することが可能である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 支点を有する支持部と、

前記第 1 支点を中心として前記支持部に回転可能に連結され、一端部に第 2 支点を有する第 1 アームと、

第 1 端部と第 2 端部を有し、前記第 1 端部が前記第 2 支点を中心として前記第 1 アームに回転可能に連結された第 2 アームと、

グリップと、

前記第 2 アームの前記第 2 端部と前記グリップとに連結され、機器に連結可能であって、前記第 2 アームに対する前記機器の向きを前記グリップの操作により変更可能なジョイント部と、を備え、

前記グリップは前記機器と連動可能であり、

前記グリップは、前記第 2 アームが前記第 1 アーム側に回転した状態にあるときに、ユーザによる前記グリップの操作により、前記ジョイント部の回転動作と、前記ジョイント部における前記機器の向きの変更動作とのうち少なくとも一方が行われることにより前記第 1 アームに前記機器が干渉せずに前記グリップが干渉する第 1 位置と、前記第 1 アームに前記機器及び前記グリップの両方が干渉しない第 2 位置とに位置することが可能である

10

機器のスタンド。

【請求項 2】

前記ジョイント部は、前記第 2 アームの前記第 2 端部に、第 3 支点を中心として回転可能に連結されている、

請求項 1 に記載の機器のスタンド。

【請求項 3】

前記第 2 アームが前記第 1 アーム側に回転した状態にあるときに、前記グリップは、ユーザによる前記グリップの操作により、前記第 3 支点を中心とした前記ジョイント部の回転動作と、前記ジョイント部における前記機器の向きの変更動作とのうち少なくとも一方が行われることにより、前記第 1 位置と前記第 2 位置とに移動可能である、

20

請求項 2 に記載の機器のスタンド。

【請求項 4】

前記グリップが前記第 1 アームと干渉する部分には、緩衝部が設けられている、

請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の機器のスタンド。

【請求項 5】

前記ジョイント部は、ボールジョイントである、

請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の機器のスタンド。

30

40

50